

三春町赤十字奉仕団

三春町赤十字奉仕団				
2012年度				
実施日	参加員数	内 容	会 場	参加人数
1 6月25日(月)	8人	プランターに花植え	三春町 仮設住宅	16人
2 11月30日(金)	12人	花いっぱい運動	三春町 仮設住宅	24人
3 12月28日(水)	11人	炊き出し訓練	三春町 三春町立小学校 三春町 仮設住宅老人会堂、老人クラブ	52人
2013年度				
実施日	参加員数	内 容	会 場	参加人数
1 6月25日(水)	8人	花いっぱい運動	三春町 仮設住宅	22人
2 11月20日(月)	8人	花いっぱい運動	三春町 仮設住宅兼会館	26人
3 3月1日(土)	17人	茶話会・香茶体験	三春町 葛尾町仮設住宅高齢者サポートセンター 葛尾町第二・第三小学校 葛尾町サポートセンター 三春の里みどり荘	19人
2014年度				
実施日	参加員数	内 容	会 場	参加人数
1 6月24日(火)	4人	お楽しみ会(にこにこ健康教室)	三春町 葛山仮設住宅	24人
2 6月20日(月)	5人	花いっぱい運動	三春町 仮設住宅兼会館	13人
3 9月11日(木)	5人	お楽しみ会(にこにこ健康教室)	三春町 仮設住宅兼会館	14人
4 11月20日(金)	10人	花いっぱい運動	三春町 葛尾町仮設住宅高齢者サポートセンター	15人
5 1月20日(火)	4人	ミニサロン	葛尾町第二・第三小学校 葛山仮設住宅	10人



[活動の実績はこちら](#)

★いつから活動されていますか？

- 2011 年より支援活動開始
- 県支部も交えて仮設住宅自治体でニーズ調査を実施した際、「継続的に支援に入るのならば」との事だった。

★対象はどちらの地域の方ですか？

- 富岡町民、葛尾村民の皆さん。

★どんな活動をされていますか？

- 震災時の炊き出しに始まり、震災後は仮設住宅、サポートセンター、小学校等で避難されている方々と一緒にお花の植え込み、サロン(茶話会)、老人クラブ主催行事での炊き出し、県支部主催行事での手伝いなどを行った。

★活動を始める際、どこでだれと協議しましたか(どなたの発案ですか？)

- 県支部より、近隣の田村市に各方部の奉仕団が集められ、奉仕団が自分達で出来る支援をとの話があった。
- 富岡町役場支所に出向き、15 か所ある仮設住宅の中から支援場所、内容を決めた。
- その後の活動は、富岡町生活支援相談員と相談し行っている。

★被災された方々の声はどうでしたか？

- 「現在は借上げに住んでいるが、とにかく狭く、夏などは暑くて入れない。」大きな農家の家に住んでいたとの事。
- 葛尾村の方は農家が多く、草刈の機械を使えるということで、男性6~7名に行政から国道の草刈りの声がかかった。リーダーを決め班編成し、作業にあっていた。「避難先で自分たちが出来ることが見つかった。収入面でも非常に助かった。」などと話していた。
- サロン(茶話会)の際に聞いたことだが、行政の対応が後手後手であるとの事。(一時帰宅の際、着物など処分した後に「写真があれば補償の対象になる」と言われた。)



★支援活動において良かったことは何かありますか？

- 花いっぱい運動の際に、毎日花のお世話のために外に出るのでお互いの安否確認が出来てよかったと言われた。コミュニケーションにも役立ったことや、花のある環境ができて大変良かったと言ってもらえた。私達も色々な話をしながら活動を楽しめて良かった。

★大変だったこと・困ったこと等ありましたらお聞かせ下さい

- 男性の方になかなか参加していただけない。興味がないと出てきていただけない。なにか方法を考えたいと常々思っている。

★支援活動前に知っていれば良かったことは何かありますか？

- 行政との連携がうまく取れるように体制作りをしっかり行っていれば良かった。
- 自主防災会の役割を把握しておけば、連携が取れた。
- 団として災害時、緊急時にどういった活動ができるか、明確にしておけば良かった。

★今後の支援活動において何か新しい取組み等がありましたらお聞かせ下さい

- 震災後の取り組みになるが、奉仕団は民生委員を兼務しており、何かあったときに民生委員としても地域高齢者等をかかえているので活動に制限が生じることから、民生委員ではない一般の少しでもボランティアに興味のある方に働きかけをしている。高齢者が多いのも悩みの一つではある。行政主導で奉仕団ができた経緯があり、女性団体、婦人会などの役員で結成されたことから、各リーダーの集まりとなっていた。そのため敷居が高い団と言うイメージがあったが、そうではないと呼びかけをし、団員募集の呼びかけ活動をしている。

★支援者(奉仕団や他団体)の「こころのケア」の必要性を感じますか？

- 出来る人ができる範囲で活動しているので、特にケアが必要とは思ってはいない。しかし、地域で活動できる体制、地域力は必要である。

